



なか がわ たみ ひで  
**中川民英**

にほんきょうざんとうつしぎだん  
**日本共産党津市議団**

### 親が高齢になった時の障がい者の生活を守れ

**問** 障がい者や親の高齢化が進んでいる。これまで介護を頑張ってきたが、ある日突然生活が立ち行かなくなる場合がある。この状況を放置することがないよう、また、未然に防止せよ。

障がい者の福祉サービス利用開始において、緊急性の有無を確認し対応せよ。

また、障がい者が幼少期から周囲と交流でき、孤立しない環境づくりなどを進めよ。

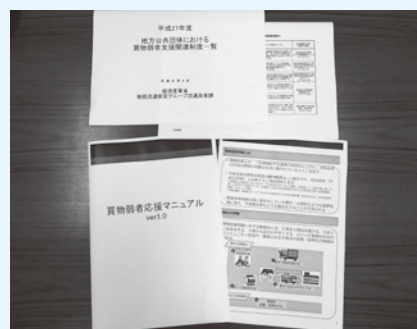
**答** 職員が窓口対応する際には、障がい者本人や家族、生活の状況等を伺いながら、事業所とのマッチングを図り、サービス利用につなげているが、相談内容は様々であることから、一律にマニュアル化は難しい状況である。このため、事例を職員間で情報共有しながら経験を高めていくことで、緊急性の有無も含め、気づくことのできる体制づくりに努めていく。

また、各障がい者団体によるイベントの開催など、地域住民や関係者との交流の場を設けるとともに、講演会等で社会参加の必要性を引き続き周知していく。さらに、生活支援ファイル「はっぴいのーと」を記入していく過程なども捉え、今後も関係機関と連携し、孤立しない環境づくりに取り組んでいく。

### ●その他の質疑・質問●

○買い物弱者支援について

●この問題は過疎部などにとどまらず、都市の問題として出てきている。買い物弱者が日常生活で求めているサービス等の実態調査を実施し、具体的な買い物難度やニーズ等を把握することから始め、要支援予防のような福祉的な見方を主にし、経済的、都市機能的な見方に広げ、総合的に対処せよ など



▲経済産業省から出されている買い物弱者応援制度紹介など



とよ だ みつ はる  
**豊田光治**

にほんきょうざんとうつしぎだん  
**日本共産党津市議団**

### 働く場所の創出で、まちの活性化を

**問** 市民アンケートの結果、津市は働く場所が少ないとの回答が多かった。

また、人口が減少していく中、働く場所を創出することにより、津市への流入が増えると考えますが、新設された津市ビジネスサポートセンターは、自ら働く場所を作りたいという市民に対して、どのようなサポートをしていくのか。

**答** 創業支援に対する取り組みとして、津市と津商工会議所、津市商工会、津北商工会等が連携して、「創業サポーターソケット津」を設立し、創業準備の段階から資金調達、創業、創業後までを含めた継続的な相談体制による支援を行ってきた。

近年、津市への相談件数が増加する中、窓口体制の充実として、今回、津市ビジネスサポートセンターを設置した。

また、資金融資に係る施策として、三重県信用保証協会の保証料の補給や、新たに日本政策金融公庫で融資を受ける場合の利子の一部補給を創設し、創業初期に必要な資金の円滑化を図り、創業時における事業の安定化に寄与する支援を始めたところである。

### ●その他の質疑・質問●

○農地集積・集約化等による農地利用の最適化を進め、大区画化を推進して、農業経営の規模拡大や集積・集約化を促進しているが見通しはあるのか

○使用目的にあった規模の「ドローン」の開発研究を

●津波発生時の広報車巡回の補助、遠隔地や孤立地区への物資配送、さらに人命救助用に研究、導入を など



▲期待されるビジネスサポートセンター